

ナガエミクリ

Sparganium japonicum Rothert
ガマ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧 【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

従来普通に見られたが、開発や河川改修等によって生育地、個体数とも減少した。

分 布

本州～九州に分布。県内全域で局所的に分布している。

種の特徴

沼や河川に生える多年生草本。高さ 50～130 cm。葉は幅 8～14 mm。花期は 6～9 月。葉腋から出る枝の上部に雄頭花、下部に雌頭花をつける。雌頭花は 2～6 個あり、下部のものは 3 cm 程の柄がある。集合果は球形、直径 1.5～2 cm。

生育を脅かす要因

河川工事、湿地開発、水質汚濁。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○				○	○	○	○				○	○		○	○	○

コガマ

Typha orientalis C.Presl
ガマ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧 【環境省カテゴリー】—

選定理由

近年、池沼の開発や、用水路改修工事等によって生育環境が損なわれている。

分 布

本州～九州に分布。県内全域で局所的に分布する。

種の特徴

池や沼に生える多年生草本。茎は高さ 1～1.5 m。葉は幅約 1 cm。花期は 6～8 月。茎の先に円柱形の花穂をつけ、雄花穂は長さ 3～9 cm、その下の雌花穂は長さ 6～10 cm。果実の基部には白毛があり、風で広がる。

生育を脅かす要因

湿地開発、自然遷移、土地造成。

参考文献 林弥栄ほか（2013）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○			○	○	○							○	○	○	○

ホシクサ

Eriocaulon cinereum R.Br.
ホシクサ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：— 【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内各地で確認されているが、個体数が減少している。水田環境が激変し、生育が危惧されるので、今回準絶滅危惧とした。

分 布

本州～九州に分布する。県内全域で局所的に分布する。

種の特徴

湿地または乾いた水田等に生える無茎の一年草。葉は束生し、線形で長さは 3～8 cm、下部の幅 1～2 mm、3 脈がある。先はのみ形になる。花期は 8～9 月。花茎の高さは 4～15 cm で、肋はほとんどなく、ねじれない。種子は楕円形で、長さ約 0.4 mm。

生育を脅かす要因

土地開発、自然遷移。

参考文献 若杉孝生（2008）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○